

## POINT① 暗算重視の能力開発型教室

圧倒的な計算力 + 右脳開発 = 珠算式暗算

暗算（あんざん）はそろばんを使わずに頭の中でイメージした玉を動かして計算する方法です。

A C Eでは暗算力の養成に最も力を入れており、練習時間の割合も進級と共に大きくなっていきます。

従来のそろばん教室ではそろばんを弾くこと（珠算）が中心で、暗算はおまけ程度しかやっていませんでした。でも残念ながらしっかりとしたカリキュラムを基に学習していかないと暗算力は身に付きません。

フラッシュ暗算（画面上に数字が次々と表示される問題）も瞬間暗算力を身に付けるには良い教材になりますが、導入していないところもまだまだたくさんあるようです。

筆算との大きな違いは計算の途中過程を全て頭の中で処理することです。これは想像以上に高度な能力を求められますが、3桁×3桁の問題も訓練次第であつという間に正答できるようになるから不思議なものです。十段レベルになれば4桁×4桁どころか、それ以上の計算もこなすことができます。

この能力を培う過程でイメージ力や集中力が磨かれ、忍耐力・記憶力・情報処理速度の向上などといった「学習の土台」となる様々な力が養成されると言われています。

いつでもどこでも早く確実に答えを導く珠算式暗算。低学年のうちに身に付けばさんすう大好きっ子になること間違いなしですし、受験でもあなたにしかない武器として大いに役立つことでしょう。

数字は普段の生活においても必ず扱うことになる重要な存在です。数字を上手に扱えるというスキルは一生涯にわたってあなたを助け、一生涯奪われることのない宝物として輝きを放ち続けます。

## POINT② 月に2回の特別練習

納得いくまで練習に没頭できる時間を持つことで子どもたちの持てる力を引き出します

A C Eでは土曜日に150分間の特別練習をはじめました。

土曜日に教室に通うことが難しい方も多いかもかもしれません。しかし学校に行って疲れた状態になってからでは質の高い練習を一定時間行うことはさらに難しいのです。

大事なことを学ぶ上では心身の状態が安定している土曜日の午前中が最適です（一番実績を上げている兄弟校の富沢南教室でも土曜日の授業を取り入れてから全体の成績が飛躍的に伸びました）。

優先すべき授業がたった月に2回だけ、という捉え方もできますし、他の習い事との両立または近くにそろばん教室がない場合でもメリットになるかもしれません。

土曜日150分の授業でしかできない練習というものがあつ、この積み重ねが他との差を生み出します。また、週2日の方でも練習時間は他塾の週3日と同等がそれ以上となるので短期間での習得が可能です。

## POINT③ 延長練習・日曜特訓

学習の遅れは平日の延長練習で取り戻し、日曜特訓で圧倒的な差を生み出します

平日の練習時は1回55分ですが、希望により延長が可能です（追加の料金は発生しません）。

段位までは長い道のりです。思った通り成果が出ないこともあります。そんな時は延長練習を一定期間続けてもらうことで確実に変化が訪れます。

土曜日の特別練習同様、日曜日にも練習効果が高い絶好の機会です。希望により午前・午後と予定に合わせた学習が可能です。短期間での段位合格や大会入賞を目指す方にオススメです。